



トピックス

20年度2級自動車整備士試験 100%合格！

交通機械工学科

平成20年度2級自動車整備士技術認定試験（国土交通省）に、本学交通機械工学科学生112人（2級ガソリン自動車整備士88人、2級ディーゼル自動車整備士24人）が受験し全員が合格しました。

本学交通機械工学科では、かねてから2級自動車整備士資格取得のために必要な技術教育を徹底しているほか、平成19年度から大学院自動車システム工学専攻に1級自動車整備士養成課程を設置するなど教育環境を整備したことによって、学生の学習目的と学習意欲が確かなものとなったことが100%合格に繋がったものと考えています。



タヒタニ

第5号

発行日 平成21年6月
久留米市上津町 2228-66 広報課
TEL (0942)22-2345 (代表)
FAX (0942)21-8770
<http://www.kurume-it.ac.jp>
デザイン：情報ネットワーク工学科 河野 央

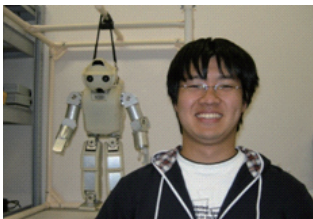
新入生の声

機械システム工学科 1年 有馬忠寛
(出水高校)

私がこの学科を志望した理由は、高校一年生のときに大学のパンフレットを取り寄せたのがきっかけです。パンフレットで機械システム工学科にロボティクスコースがあることを知り、将来自分のやりたいことについて学べると思い入学しました。

大学の授業は高校と全く違って、必修科目と選択科目があります。必修は必ず受けなければなりませんが、選択は単位数によって受ける必要がないこともあります。自分の時間が高校の時よりも多くあるので、バイトやサークル活動など自分のやりたいことを進んで行うことができます。しかし、自由も多い分、自己責任というのが高校のとき以上に重要になってきます。

今後、私は専門科目や教養科目をしっかりと勉強し、資格をたくさんとって社会に貢献できるようなエンジニアになれるよう頑張っていこうと思います。

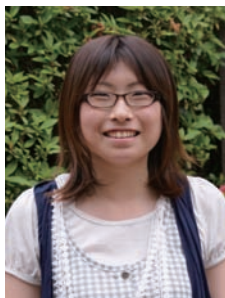


2年生の声

情報ネットワーク工学科 2年 小宮 弥生子
(長崎工業高校)

最初のころは覚える事が沢山で大変だったけど、最近では大分慣れてきて、勉強も一人暮らしも楽しめるようになってきました。入学した当初は、友達も出来るかどうか不安だったけど、すぐにクラスにも友達ができて安心しました。サークルでも、先輩と仲良くしてもらって色々教えて頂いたりありがたい限りです。秋華祭が近づいてきて、だんだんサークル活動も忙しくなってくるけど、今年は後輩もいるので自分もしっかりしなければと思います。

勉強の面では、一年のときは、高校で習った授業や苦手な授業が多くて嫌だなーと思っていたけど、二年になってからは、今まで習っていない授業や、ずっと勉強したいと思っていた教科が増えてきて楽しいです。また、一年間で思ったより検定試験を受ける事が出来なかったのが、これから頑張っていきたいと思います。



新入生オリエンテーション

久留米工業大学では、新入生同士および教員との親睦を図り、大学生活をスタートするにあたっての心構えなどを新たにすることを目的とし、各学科それぞれにオリエンテーションを実施しています。

機械：4月17日 - 18日(土・日) グリーンピア八女
交通：4月25日(土) 大分 オートポリス
建築：4月23日(木) 山口 積水ハウス工場
情報：4月11日(土) 長崎 ハウステンボス
環境：4月23日(木) 長崎 ハウステンボス
教育：4月18日(土) 第12回久留米つつじマーチ参加
および久留米散策

交通機械工学科

平成21年4月25日(土)、大分県日田市のオートポリスにて開催された「2009 グランツーリスモ D1 グランプリ 第2戦」へオリエンテーションに行ってきました。

当日はあいにくの雨と寒さ、更には濃霧がたちこめ、競技開始が3時間半も遅れる最悪のコンディションとなり、競技観戦はほとんどできませんでした。しかし、予定にはなかったピットワークや、世界的に有名なレーサーが同乗しコースガイドしながらサーキットコースをバスで巡るというサービスイベントに急遽参加できることになり、ある意味貴重な体験となりました。



建築・設備工学科

「家づくり体験テーマパーク」
住まいの夢工場(積水ハウス)見学報告

学生同士や教員との親睦はもとより、建築・設備工学科で学ぶ基本的かつ最小建築物である住宅の計画、環境、構造などを学ぶことを目的に行いました。

住まいの夢工場にあるテーマパークの「安振館」や「まるごと鉄骨館」では、阪神・淡路地震クラスの震度7相当の体験や耐震メカニズム、家具等の脱落防止工法を学び、800℃以上の炎での外壁耐火実験などの体験をしました。

また、窓ガラスの種類による室温変化の違い、子どもから高齢者まで暮らしやすいバリアフリー体験など、家づくりに大切な構成要素の見学体験をしました。学生は、この見学を通して建築や設備での興味を倍増させ、将来の糧となる貴重な体験をしたと思います。



学生活動

学生フォーミュラプロジェクト

学生フォーミュラプロジェクトチームは、2005 年に発足、5 年目を迎えます。昨年、エコパ（小笠山総合運動公園・静岡県）で行われた「全日本学生フォーミュラ大会」の成績は一昨年の 51 位から大きく飛躍し、出場 61 チーム中 21 位（九州では 1 位）という素晴らしいものでした。活動の様子は、プロジェクトのメンバーのブログに克明に記録されています。是非ご覧ください。

URL: <http://kit-fp.spaces.live.com/>

先輩からのバトンを受け取った新生フォーミュラプロジェクトチームは、その決意を新たに 2009 年度の活動を始動しました。



八女福島の町並みとまちづくり活動

八女福島の町並みの魅力を学び、町並みの保存活動等を通して、歴史的文化遺産を後世に残していくことを目的に、本学建築・設備工学科の学生 3 人は、八女で開催される様々なイベントで人力車を引いたり伝統町家の測定作業などを行っています。まちづくりの活動は、八女市ばかりでなく各地で行われており、佐賀市、久留米市でも本学学生が、さまざまな活動に自主的に参加しています。



ソフトボール部活動報告

交通機械工学科 2年 福元裕貴
(鹿屋工業高校)

僕たちソフトボール部は、少人数ながらも「練習はきついけどメリハリをつけて楽しく」をモットーに週 3 回という貴重な練習時間を使って日々汗を流しながら楽しく頑張っています。部員全員、面白いメンバーだけど練習のときは厳しい一面も…でもいい人たちがばかりなのでとても充実しています。練習のない日はみんなで遊びに行ったり食事をしたりしてコミュニケーションをとっています。現在の目標は「まず 1 勝！」でも最大の目標は「九州大会優勝！」です。現在、部



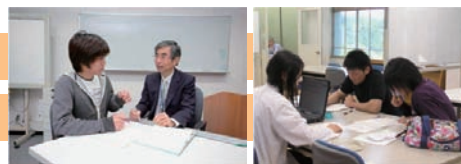
員が少ないので経験者、初心者興味のある方、一度グラウンドに練習を見に来て、練習中でもかまわないのでぜひ声をかけてください。一緒にソフトやりましょう！

施設設備

学習支援センター開設

久留米工業大学では、学生のみなさんの講義への理解を深めるために学習支援センターを開設しました。

学習支援センターでは授業中に理解できなかった所、また、分かりにくかった所などを共通教育科目（教養教育科目）から専門教育科目までの全ての科目について個別指導を行います。学習支援センターには、毎日 2 ～ 4 名の教員が交代で常駐して学習支援を行うこととしています。利用時間は、学生のみなさんの都合の良い時間を選べます。学習支援センターでは学生のみなさんが十分に学力を付けて、大学生活を充実して過ごせるように支援を行います。



ものづくりセンター

久留米工業大学は学生の自主的なものづくり教育を積極的に推進しており、教員スタッフのサポートを受けることができます。

たとえば、フォーミュラカー、各種競技用ロボット、ソーラーカー、電気自動車やハイブリットカー、建築模型や各種模型など学生の自主的な研究活動を支援しています。その集大成ともいえるのが「ものづくりセンター」です。このセンターは学内の教育研究用機器の有効利用を促進するとともに、金属加工を主とした「創造工房」に加えて、新たに木工機械、工作機械、3 次元プリンター、回流式大型風洞や仮想現実表示装置（VR システム）などの教育用機器を集積した、いわゆる「ものづくりの拠点」という機能を持たせます。



ものづくりセンター完成予想図
(7 月完成予定)

就職関係

インターンシップの報告

交通機械工学科 4年 本多亜李紗
(長崎女子商業高校)

私が、インターンシップ体験をさせていただいたのはダイハツ九州株式会社です。配属された部署は品質保証部という部署で、研修では指定自動車・検査法の説明、生産ラインの見学や完成検査での同乗走行、抜取検査の見学・体験などをさせていただきました。

品質保証部が毎日行っている検査・管理のおかげで、自動車の品質を一定に保つことができ、お客様へ安全安心な車を提供できることにつながることを学ぶことができました。

そのほかに、パソコン作業やレポート作成など事務的なことも指導していただき、自分にとってプラスになることがたくさんありました。インターンシップに参加することができて本当によかったと思います。



本学の就職状況について

久留米工業大学では、1年次から様々なセミナーやインターンシップなどを通して学生の就職指導を行っています。

教員、職員が一丸となった指導の徹底により、平成20年度の就職内定率は97.7%を達成しました。

さて、昨年の秋以降に発生したいわゆるリーマン・ショックに端を発した世界的不況は、日本の製造業を中心に大打撃を与えました。この100年に一度と言われる不況の波は、新卒者の就職活動にも大きな影を落としています。しかし、この世界的不況は一時的なものであり、3～4年後には再び活性化するものと予想されます。経済が活性化されれば、再び多くの人材(特に技術者)が必要となります。

現状と近い将来の展望を的確に把握し、適切な就職活動に必要なデータの把握や教育を行うことで、この就職難の時代を乗り越え、平成20年度の実績と同等の実績を残せるよう一層の指導体制を整えていきたいと考えています。

大学からのお知らせ

大学評価

すべての大学は、大学の施設設備・教育研究・管理運営等について学生の教育を行うために相応しい水準にあるかどうか、認証評価機関による評価を受け、なおかつその水準の向上に努めることが義務となっています。

本学は、平成20年度にこの評価を受け、21年3月24日付けで「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている大学である」と認定を受けました。

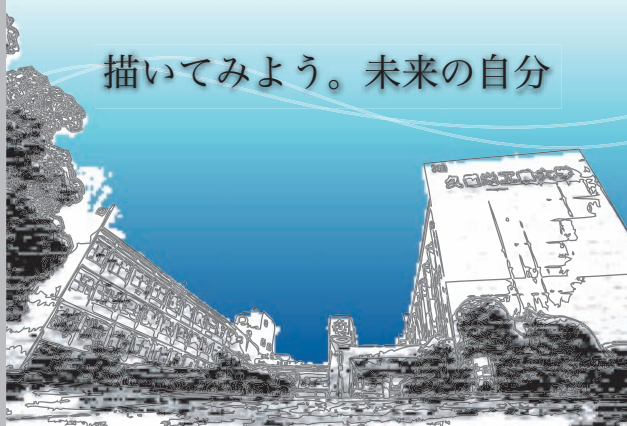
これからも本学は、これら大学の施設設備、教育研究等の向上について一層努めて、人間味豊かな産業人の育成に取り組んで参ります。



オープンキャンパス



描いてみよう。未来の自分



- 事前予約不要
- 西鉄久留米駅とJR久留米駅よりシャトルバス運行



久留米工業大学のモバイルサイト(携帯版)からも資料請求ができます。左のQRコードからアクセスしてご覧ください。